

色と暗記力の関係

佐竹千聖 (兵庫県立北摂三田高等学校)

色と暗記力の関係

北摂三田高校 2年 佐竹千聖
 ゼミ指導教員 米正竜太

研究動機

中学校の先生が「暗記するのに青色が効果的だ」と教えてくださり、暗記したい単語を青色で書くようになった。しかし、本当に青色は暗記するのに適しているのかと疑問に思った。インターネットでは、暗記するのに適している色として青色以外の色も挙げられていた。そこで私は本当に暗記しやすい色は何色なのかを調べていきたいと思う。

研究結果

・アンケート結果
 「書く」「見る」「聞く」「声に出す」の中で最も暗記に用いられている方法は「見る」で、その場合、赤色を用いる人が多い
 対象：北摂三田高校 2年 6組 38名
 38名中 15名満点

	1問間違 い	2問間違 い	3問間 違い	計
赤×	3人	3人	3人	9人
黒×	7人	3人	3人	13人
青×	2人	4人	3人	9人

先行研究と研究テーマ

・先行研究
 『英単語の記憶と色の関係-英単語を効果的に暗記するために-』
 藤原采音さん (東京女子大学)

対象：東京女子大学の学生 99人
 研究課題：英単語を見るだけの時の暗記力、英単語帳の効果、持続力、色との関係性、ストループ効果との関係性
 研究方法：テストを一週間開けて2回実施。テストは「レベル別語彙リスト SVL12000」を参考に作成。英単語は形容詞に限定。わからない場合は「わからない」と回答する形式。
 テスト1：英単語と意味が4個書いている紙を30秒で暗記。声だし、メモは禁止。選択式テスト。その後1分間の記述式テスト。
 テスト2：記述式テストの後に選択式テストの実施。
 研究結果：テスト1：黒で示したグループの一番平均点が高い。
 テスト2：黒で示したグループの一番平均点が高い。

↓

・研究テーマ
 男女混合で高校生を対象にした場合研究結果は変化するのか
 先行研究の内容を色との関係性だけに着目して行う。

考察

短時間での暗記には黒色が1番適しておらず、赤色と青色の差はほとんどないとみられる
 ⇒黒色は見慣れているため印象に残りにくいのでは

研究手法

- ① アンケートを取る。
 (質問内容)
 - ・普段の暗記方法 (「書く」「見る」「聞く」「声に出す」「その他」から選択)
 - ・暗記しやすい色 (「赤色」「黒色」「青色」「その他」から選択)

↓

 アンケートの結果からテスト方法を決定する
- ② テストの実施
 緑、黒、赤、青で書かれた8桁の数字を1つずつ5秒で覚えて数字を書いてもらう。なお、緑色は結果に反映させないとする。
 (数字は「16425028」「54296817」「37061592」とし、人によって色は異なるとする)
- ③ テストの結果をまとめる
 表・グラフを用いる
- ④ 考察を立てる

まとめ・展望

アンケート結果で、「見る」を選択した人が38人中18人と一番多かったため、そのアンケート結果とテストのしやすさから見て覚えるという形式でテストを行った。
 テストの結果から黒色は見慣れているため、印象に残りにくい。そのため、赤色や青色と比較してみると、不正解率が高くなっているのではないかと考える。赤色と青色では差が出なかったため数字においてはあまり暗記において差はないと考えられる。

今回の研究では、数字という特定の文字で、5秒で覚えてすぐに書くというものだったので、結果を今後のテストなどでは活かしにくいと思われる。

今後の展望として、数字に限らず漢字や英語といったほかの文字における研究をしていきたいと思う。
 また、今回の研究では覚えてすぐに書く形式だったので、長期記憶の点においてどの色がいいのかはわからないので、長期記憶の場合では、どんな結果になるか調べていきたいと思う。

【参考文献】

- ・『英単語の記憶と色の関係-英単語を効果的に暗記するために-』藤原采音さん (東京女子大学)
- ・『ペンの色で学習効果が変わる！暗記に向いているのは何色？』東京法経学院
- ・『暗記しやすい色ペンは何色？勉強に適した色も紹介』中部教育ラボ